

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します

総務常任委員会

度移行すると見込むのか。
A 20件程度を見込む。

◆議案第6号

飛騨市職員給与に関する条例の一部を改正する規約について
時間外手当等の算出基礎となる勤務1時間あたりの給与額の算出方法の改正。
飛騨市こどものこころクリニックに臨床心理士を配置するための位置付けるもの

Q 今後職員の給与総額は上昇するのか。
A 現在40歳台の職員が多いことから上昇し、その後は年齢がバラけるが、少なからず上がっていく見込みである。

◆議案第8号

飛騨市ケーブルテレビ情報施設条例の一部を改正する条例について
インターネットサービスに新たに高速通信プラン(50メガプラン)を設定し、使用料を月額4,100円とするもの

Q 50メガサービスにどの程度

◆議案第11号

飛騨市種蔵山里の暮らし体験施設条例の一部を改正する条例について
施設を効果的に運用するため使用方法及び使用料金を改正するもの

Q 利用料金について弾力的な運用を行うのか。
A 繁忙期と閑散期により運用する。

◆議案第13号

飛騨市こどおの教室条例の一部を改正する条例について
飛騨市古川やまびこ教室において保育所等訪問支援を実施するもの

Q 年間の予定回数、支援の内容は。
A 2週間に1回を予定する。内容は対象のこどもが集団生活にどうしたら適応できるか支援するもの

◆議案第14号

飛騨市介護保険条例の一部を改正する条例について
介護保険料と段階区分の基準所得金額の変更をするもの

Q 保険料の引き上げに対する考え方や緩和措置は。
A 平成30年度から32年度までの3年間の保険給付費の総額が97億円と見込まれ、その23パーセントを第1号被保険者の保険料で賄うため、年額の基準保険料額を6万8520円とするもの。

被保険者の数が減少し、保険給付費自体が下がらない。緩和措置は3年間で基金から1億8千万円を繰り入れ、保険料の軽減を図る。

◆議案第18号

飛騨市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例について
上位法の改正により、居宅介護支援事業所の指定権限が、県から市町村に委譲されるもの。県の基準を市の基準として定め引き継ぐもの

Q 市の独自性はあるのか。
A 市独自で改正する部分はない。

◆議案第22号

飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
国民健康保険法等の一部改正等を受け、平成30年4月から県が保険者になることに伴う事務規定の変更、基礎賦課限度額の引き上げ、保険料を軽減する所得判定基準の引き上げ、広域化に伴い保険料の賦課方式を4方式から、資産割額を廃止して3方式に変更する改正をするもの

Q 資産割額の廃止による影響はあるのか。
A 軽減対象になっっている方の負担は減り、所得の多い方の負担が増えると思われる。

◆議案第24号

飛騨市不妊治療費助成金条例の一部を改正する条例について
同一年度の助成回数、助成を受ける年度の数を廃止し、通算10回まで助成を受けることができるもの

Q 改正に至った経緯は。

A 治療される回数が増えてきていること、県の助成が年度の回数制限をなくしたことを受け改正するもの。

◆議案第25号

飛騨市子ども予防接種費助成条例の一部を改正する条例について
こどもの任意予防接種の助成対象にロタウイルスワクチンを追加するもの

Q 市内での発生状況と効果について
A 全国で入院患者は8万人程度と推測されるが、市内では不明。この予防接種によりロタウイルス感染症の90パーセントは予防できるといわれており重症化が防げるもの。

◆議案第27号

飛騨市スポーツ施設条例の一部を改正する条例について
飛騨市羽根体育館を廃止するもの

Q 取り壊しの予定はあるのか。
A 普通財産として所有し、貸付の方向で検討する。

委員会Q&A

◆ 議案第28号

飛騨市使用料徴収条例の一部を改正する条例について

古川町公民館及び古川町千代の松原公民館において、一部の部屋を分割して貸し出せるよう利用料金を改正するもの

◆ 施設改修の必要性は

改修計画はない。使用者の利便性には配慮したい。

◆ 議案第30、36号

飛騨市辺地における公共施設の総合整備計画について

数河、稲越、元田、坂下、漆山、茂住、山之村の7地区において、平成30、34年までの公共施設の総合整備計画を定めるもの

◆ 計画の実施について

その都度状況を判断し、検討する。

産業常任委員会

◆ 議案第42号

飛騨市路上喫煙の防止等に関する条例について

古川町市街地の一部を路上喫煙禁止区域として指定し、安全で快適な歩行空間を確保するため制定するもの

苦情があるのか。外国人等への周知方法は。

どうやなボックスに市民から意見をいただいている。周知は、市民へはチラシ、観光客等に対しては観光パンフレットに掲載し対応する。



路上喫煙禁止区域の道路

◆ 議案第44号

飛騨農業共済事務組合の一部を改正する規約について

農業災害補償法の改正に伴うもの。収入保険制度が創設され、自然災害に対する保険だけでなく、価格低下を含めた収入減少もサポートし作目の品目に限定がなくなるもの

◆ 対象品目は。

肉用牛、繁殖牛を除く、米、野菜、果樹、花卉、お茶、シイタケなどほとんどの農作物が対象となる。

◆ 議案第47号

財産の無償譲渡について（古川町三之町まちづくりセンター）

当該財産を古川町第九区に無償譲渡し、地域での利活用の促進を図るため制定するもの

◆ 補助金の関係で譲渡に問題はないのか。この施設の他に譲渡予定の施設はあるのか。

供用開始後の経過年数から補助事業上の問題はない。都市整備関係施設は今回が最後である。



古川町三之町まちづくりセンター

連合審査会

連合審査会とは、審査のため総務・産業の各常任委員会が合同で審査するものです。

21施設の中で17施設が公募であるが、全国公募の方法は。

市のホームページによる。

今後、コミュニティ施設は非公募、それ以外は全国公募となるのか。

全国公募を原則としたい。公募すればいろんなノウハウを持った会社が手を挙げてくれる可能性がある。

種蔵山里の暮らし体験施設は県外の事業者だが、書類のみの確認か。

職員が事業者の施設を視察した結果を盛り込みながら判断した。

施設そのものの目的から達成度、今後もどうするのかということも踏まえて検討する必要があるのではないか。

見直しが必要であることはそのとおりであると思う。一部縮小するとか大幅な見直しをするということが避けられない。

予算特別委員会

3月補正予算審議

総務部

公共施設の見直しはすべ

ての施設がはいっているのか。

検討委員会にて、346施設を利用状況をみながら見直していく。

企画部

ふるさと納税で東大へ1,860万円寄付されているが、使途は。

若手育成基金に充当される。

東大関連商品はできたのか。

GSAではクリアファイル等が、又、商工会議所では酒などできた。

市民福祉部

B型障がい者施設の改修費補助根拠は。

市の慣例で補助率18%である。

入園・入学支援金の利用状況は。

対象者790名のうち申請者714名。90・4%の申請である。

不妊・不育助成金の増は。特定不妊治療者が10名以上増えた。

生活保護の問題点は受給世帯の86%が高齢や

Q 傷病等の世帯であり医療費がかさんでいる。

A こどものこころクリニックの現状は。

Q 105名が受診中で、半数が高山市、4割が飛騨市である。

環境水道部

Q 石神用水清流発電所の売電収入が減少しているが水量の減少が要因か

A 12月から売電収入がスタートした。2月末までの売電収入は約190万円。冬場でも水量が減少している。

農林部

Q 信包地区と大無雁地区の地籍調査測量の面積は。

A 信包0・52km²、大無雁0・67km²

教育委員会

Q 育英資金給付型の件数は。

A 29年度新規貸付け13件のうち4件が給付型である。

総務部

Q 30年度当初予算審議は。法人市民税の近年の動向

A 1千5百万円の減。人件費が増え、設備投資で収入が減っている。

Q 防災士は、各区、学校でも必要では。

A 区では、男女各1名を基準、学校、企業へも働きかける。

Q 防犯灯はどのくらいLED化されているか。

A 71%完了。

Q 防災無線の個別受信機が老朽化している。一斉更新は考えてないのか。

A 約1万台あり、一台4万円かかるため、既存のもので交換し、それでもだめな場合は、防災ラジオで対応している。

企画部

Q ふるさと納税当初予算2億円の根拠は。

A 実績では3億円ほどあるが、低い年もあるため。

Q 棚田と板倉関係の「ふるさと種蔵村」事務局はどこか。

A 宮川振興事務所におく。地域おこし協力隊、山村増員の意図は。

A 1名では限界があり、ステップアップのため1名増やす。交流人口増にもつなげた。

い。

Q 移住PRドラマの詳細と、発信方法は。

A 岐阜県が制作するもので賛同する形になる。現在4市町が手をあげている。テレビ放送の予定である。

Q 台湾・新港郷との交流は、市内2高校の生徒が対象か。

A そうである。

Q 対象人数と補助率は。

A 15名ほどを想定し、3万円程度の支援を行う。

Q 以前、高校生の海外ステイがあつたが今後の見通しは。

A 新港郷とは友好提携でスタートした。その後は見ながら進める。

Q 指定管理について合同審査したが、審査で満点をとるにはどうするかなど、誰が見ても納得できる審査にしてほしい。

A 定量的にできるものとそうでないものがあるが、見直しも必要かと思う。

Q 全国応募も必要かと思うが、最低5年間で募集したらどうか。

A ある程度長期でないと計画が立てられないと思うので見直しする。

Q 空き家の家財道具処分への補助は、空き家を壊す時も該当してもよいのでは。

A 移住政策を進める上での支援で、活用促進を目的とした。

市民福祉部

Q 子供の居場所づくり事業の周知方法は。

A 学校を通じて全児童にPRする。

Q 民間の方で子供食堂のような事業をされている団体があるが、その補助はやさしいまちづくり応援事業の中のひとりで親家庭を応援する事業で対応するのか。

A そうである。

Q 病児・病後児の保育の利用実績は。

A 今年度2月末で、述べ178名の方が利用された。

Q 雪下ろしサポートセンター事業委託料350万円であるが、今年の実績はどうか。

A 40件の50回で153万円である。

Q 和光園のリノベーションは、障がい者グループホームや有料老人ホームなど事業が多いと思うが、今後どのような

に進めていくのか。

A 吉城福祉会と話し合いながら、市の主導で進めていく。

Q ありがとうファームでのひきこもりの就労支援の実績は。

A 1月末現在で5人の就労支援を実施し、その内3人が就労・就学につながっている。

Q 30年度の予定と内容は。

A 29年度と同様の支援をしていく。課題等は事業者と話し合っていく。

Q 30年度の人数は。

A 計画人数は決まっていないうが、目安を5人程度とした。

Q 保育園の年度途中の入園は厳しいと聞いているが、保育士が不足なのか、部屋がいっぱいなのか、どちらなのか。

A 保育士が不足していて確保がむずかしい。

環境水道部

Q 飛騨市の良好な環境保全の新たな対応策を研究するワーキンググループの構成メンバー及びいつまでに作るか。

A この問題は慎重に行う必要があるため何時までに、というメンバーをとという事は

委員会Q&A

現時点では決めていない。

Q 条例作成までできないか。

A 各種法律など慎重な対応が必要。今年度は研究する期間である。

Q 路上禁煙区域の周知方法

として、観光施設のチラシにも掲載、市のホームページにも事前に掲載をしてはどうか。

A 対応する。

Q 松ヶ瀬最終処分場はどれくらい容量があつて、あと何年使用できるか。

A 平成27年時点、容量3860m³、年間平均埋め立て量211m³、あと18年の見込み。(現時点で16年)

Q 次の場所を選定するまでにどのくらいかかるか。

A 何年かかるかわからない。委託という方法もあるので、これらを含め検討する。

Q 処分場も今のうちにしっかりと計画を立てなければならぬし、更新するには費用が掛かるので基金の検討も必要でないか。

A 準備に数年かかることを考えると、早めの準備が重要と考えている。

Q クリーンセンター、下水処理場や火葬場等の更新に向

けての検討を進めて頂きたい。

A 人口減少に伴って検討している施設もあるが、全てではない。早い時期の次の検討は必要である。

農 林 部

Q エゴマの振興で増えた要因は。

A 30名増え60名となり、中には面積を拡大した農家もある。エゴマ出荷組合に選別機を貸し出し、質の良いエゴマを出荷していく。

Q トマト研修所の研修生の状況は。

A 就農フェア等で129名の面談をしたが、4期生は0名である。平成31年には数名が期待できそうである。

Q 酪農、畜産就農者数は。

独立就農者にもっと手厚い施策はできないか。

A 平成16年繁殖農家42戸で29年は19戸。研修センターは、非農家を中心に能力の高い繁殖農家を育成するための事業で、農業大学校や県の関係機

関と協力をして進めていく。

Q 民有林整備の平成29年度の実績はどれくらいか。この事業がないと赤字になるのか。

A 間伐、作業道整備で国・

県の補助金が68%、市が32%を負担している。大部分について赤字になる。手入れがされ、ニーズと合致すれば収入が見込める。

Q 北海道中川町との姉妹森協定とクラフトフェアはいつになるか。

A 秋に協定を締結したい。そのタイミングでクラフトフェアも開催したい。

Q 高野千本桜夢公園が完成するのはいつころか。

A 10年計画で進めている。広葉樹活用モデル林の調査内容は。

A 小径木利用の経済的価値を見出すための調査である。

Q クアオルトのイベント予定は。



クアオルトのスタート

A 毎月2回程度のウォーキングの日を設定する。また、

冬期利用もできないか検討中。

Q 有害鳥獣捕獲について、イノシシの捕獲は資格がないと罠の設置はできないのか。

A わな捕獲の免許が必要で、免許保有者の責任で設置する。狩猟者育成の補助金と併せうまく利用してもらいたい。

商工観光部

Q プレス旅行エージェントの招聘エリアは。

A エリア範囲は広くとりたい。プレスは関東方面中心。エージェントは広い範囲。

営業の中で、反応が良いところに力を入れる。

Q 道の駅や観光施設に置く簡単な案内チラシができないか。

A お客さんに喜んでいただけるものを考えたい。

Q ネットショップはどのような形でやるのか。

A 現在研修中であり、11月頃から店舗を開設したい。

Q 飛騨にかかわる商品について販売するのか。

A 飛騨市の産品を扱っていただきたいと思っている。

Q 天竺立自然公園は英語表記か、別の言葉も考えているのか。

A 今年は英語表記の案内看板としたい。動向をみて中国語等を整備していきたい。



天竺立自然公園

基盤整備部

Q 住宅支援事業で、増築したい場合の補助は可能か。

A リフォーム補助で対応可能。

Q 住宅新築補助件数は。

A 約70件程度を見込む。

Q リフォーム補助件数は。

A 約500件程度を見込む。

Q 神岡地区街なみ環境整備事業の内容は。

A 側溝蓋の美化化、道路面の美化化である。

Q 側溝改修の時、ふたは設置するのか。

A 下水道供用開始後は、側溝改修時に、ふたを入れるようにしている。

Q 林道灘見谷線は崩れて通れないと聞いているが、今年通行できるようにするのか。

A 30年に法面対策をして全面通行可能になる。

消防本部

Q 防災関係で、今後整備することはなにか。

A 古川町のヘリポートは宮川河川を使用してはいるが、できれば、消防署の付近で整備できればと考えている。

教育委員会

Q 中川与一文学資料館の移設はどこにするのか。

A 奥飛騨山之村牧場の入り口付近を予定している。

Q 増島城跡本発掘はどこか。

A 民間の土地所有者の要請により、古川製材反対側を発掘調査するものである。

Q 向小島城、小鷹利城跡どうするのか。

A 調査指導委員会にて検討している。

Q 発掘予定はあるのか。

A 31年に行う。

Q 山城セミナーの計画内容は。

A 11月3日「古川城に関する歴史講座」開催予定。

Q 桜ヶ丘体育館のトレーニング機器は何割くらい新しくするのか。

A ほぼすべて交換する。

Q 施設のネーミングに企業使ってはどうか。

A 検討する。

Q 桜ヶ丘体育館は市民のニーズが多いが、他者の利用はどうか。

A 平日の日中など利用ない時もある。調整しながら活用したい。

Q トレーニングルームの拡張計画はあるか。

A 今回、今ある機器の入れ替えて、拡張については全体の議論で行う。

Q 宮川考古民俗館は通年開館できないか。

A 冬期間はお客さんもなく、水芭蕉の繁忙期に開館したい。

Q 民俗館は観光ではないと思うが。

A 地域の文化・歴史を掘り

起こし、市民の誇りとして認識いただきたい。飛騨市の財産として、町の品格として投資したい。

Q 神岡給食センター調理員の割合は。

A 正職3名、臨時職員7名

Q 正職の調理員は充当できるのか。

A 調理員の確保は厳しいが、総務課と相談し検討する。

Q 飛騨の糸引き工女展示館の考え方は。

A 構想段階ではあるが、女

工哀史という観点ではない。また、点在させるより1か所で見るといいと考えている。

病院管理室

Q 研修医専用者宿舍新築調査とあるが、空き家利用は考えられないのか。

A 現在使用の家は老朽化しており、研修医のライフスタイルに合った住宅にしたい。



議会中継のご案内

市では、市議会の会議を飛騨市ケーブルテレビで放映しています。生中継と当日夜の再放送をしています。再放送は、午前の会議は午後7時から、午後の会議は午後9時30分からです。

また、インターネット映像配信サービス「YouTube」でも公開しています。PC またはスマホで「飛騨市公式チャンネル」で検索してください。

編集後記

3月23日に第2回定例会が終了し、平成30年度の予算が全会一致で可決しました。都竹市政が「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」を目指して3年目に入ります。

今回の予算で大きいものは、「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」の整備や和光園の新築移転、また既存和光園のリノベーション計画や「こどものころクリニック」開設など期待できる事業として注目して行きたいと思っています。その他、細かい配分で市民に寄り添った予算になっていると思います。私たちもしっかり見つけ応援して行きます。

また、飛騨市職員人事に対しても、新年度よりまちづくり推進のために総務省より企画部長として招いたり、民間からのノウハウを取り入れようと楽天や飛騨信用組合からの職員を招くことが決まり、私たちも注視し期待して行きたいと思っています。

今年度も市民との意見交換会を開催する予定なので皆様のご意見をお聞かせ下さい。

(井端 浩二)